

Outlook 2019 の設定方法

1. Outlook を起動します。（初めてのの方は1-1へ。すでに使用されている方は1-2へ。）



1-1. 初めてOutlook を起動した場合

下記のウィザード画面が表示されます。

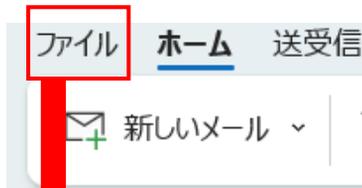
メールアドレスを入力し、「詳細オプション」をクリック、「自分で自分のアカウントを手動で設定」にチェックを入れ、接続をクリックします。



2. POPを選択します。

1-2. すでにOutlookを使用されている場合

右上の「ファイル」をクリックし、「アカウントの追加」をクリックする。



左のウィザード画面が表示されます。



3. パスワードを入力し、接続をクリックします。

POP アカウントの設定

例) user@example.com (別のユーザー)

パスワード

前に戻る 接続

4. インターネットセキュリティ警告が出た場合は「はい」をクリックします。

インターネットセキュリティ警告

接続しているサーバーは、確認できないセキュリティ証明書を使用しています。
対象のプリンシパル名が間違っています。

証明書の表示(V)...

このサーバーの使用を続けますか?

はい(Y) いいえ(N)

5. 「ユーザ名」にアカウントを入力し、OKをクリックします。

インターネット電子メール - 例) user@example.com

次のサーバーのアカウント名とパスワードを入力してください。

サーバー: mx.webporte.jp

ユーザー名(U): userXXXX

パスワード(P): *****

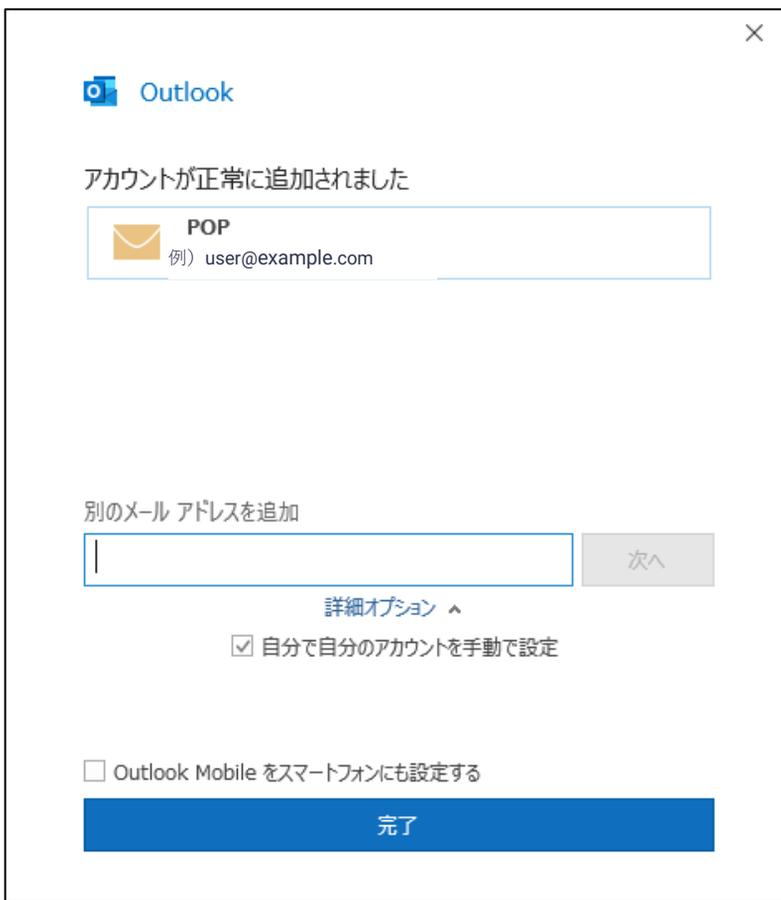
パスワードをパスワード一覧に保存する(S)

OK キャンセル

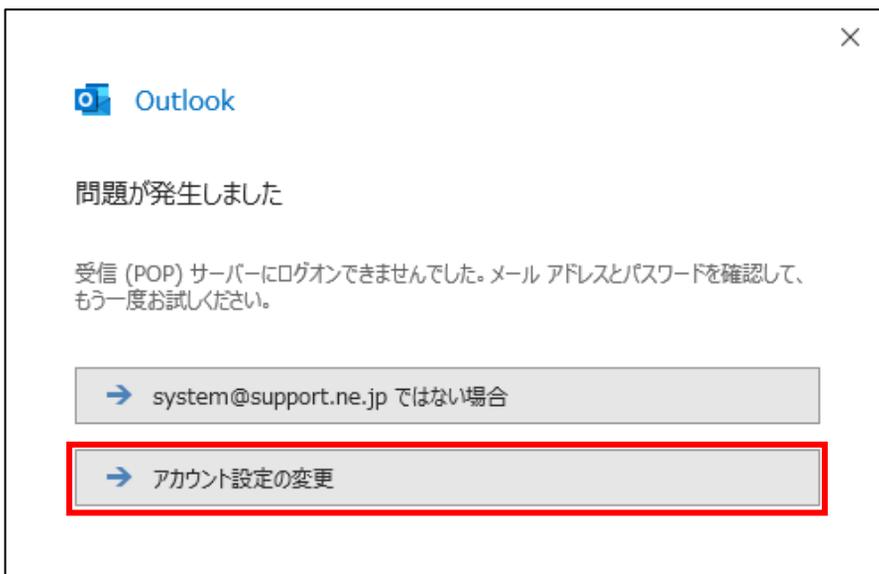
ここではサーバーは変更できないので、違っていても一旦OKを押す。

メールアカウント情報に記載されているアカウントを入力。

6. 「アカウントが正常に追加されました」と出た場合、完了をクリックします。



アカウントが正常に追加されましたら、完了です。
下記のようなエラーが出た場合は、アカウント設定の変更をクリックします。



※この表示がでるまでに、何回もポップアップが出てくる場合があります。
「OK」や「再試行」を何回かクリックして、この表示がでるのを待ちましょう。
もし、すごく時間がかかってしまう場合は、サポートセンターまでご連絡ください。

下記のようにサーバー、ポート、暗号化の設定してください。

POP アカウントの設定
system@support.ne.jp (別のユーザー)

受信メール
サーバー **mx.webporte.jp** ポート **995**
 このサーバーでは暗号化された接続 (SSL/TLS) が必要
 セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要

送信メール
サーバー **mx.webporte.jp** ポート **465**
暗号化方法 **SSL/TLS**
 セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) でのログインが必要

メッセージ配信
 既存のデータ ファイルを使用
参照...

前に戻る **次へ**

※受信メール
サーバー「**mx.webporte.jp**」
ポート「**995**」を設定。
SSL/TLSが必要にチェック。

※送信メール
サーバー「**mx.webporte.jp**」
ポート「**465**」を設定。
暗号化方法は「**SSL/TLS**」を選択

設定終了後、次へをクリックします。
アカウントが正常に追加された場合は、完了となります。

メールが正しく送受信できるか、ご確認ください。